

⑥ 新しい文化と生活

課題 大正時代には、どのような文化が生まれたのでしょうか？

(1) 教育の広がり

明治時代末期に小学校での(①)がほぼ行きわたったのを受けて、大正時代には、中等、高等教育が広がりました。中学校や高等女学校(現在の高等学校)への進学率が高まり、大学や専門学校も数が増えて、多くの(②)が生まれました。小学校では、個性を大切にし、自主性を重視する(③)の運動も始められました。

(2) 大衆文化の発展

都市の発展と知識人の増加を背景に(④)が広がりを見せました。(⑤)では発行部数が100万部をこえるものも現れるようになり、(⑥)や、月間の総合雑誌の発行部数が急速にのびていきました。1冊1円の文学全集((⑦))や、さらに低価格の岩波文庫などが出版され、文化の(⑧)に大きな役割を果たしました。子ども向けの雑誌が発行され、ヨーロッパ風の童謡や童話が広がったのもこの時期です。

国産の活動写真((⑨))も製作され、多くの顧客を集めました。また、蓄音機やレコードが広まると、(⑩)が全国に流行するようになりました。1925(大正14)年に東京、名古屋、大阪で始まった(⑪)は全国に普及し、新聞と並ぶ情報源になりました。

こうした(⑫)の発達とともに、大衆小説、映画、歌謡曲や野球などのスポーツが大衆の(⑬)として定着していきました。



(3) 新しい思想や文化

学問や芸術にも新しい傾向が生まれました。

【学問】 東洋と西洋の哲学を統一しようとした哲学者 (A) 民芸運動を起こした (B) など、独創的な研究者現れました。

【文学】 白樺派…自然主義に反対して個人を尊重した (C) (D)



知性的な短編小説で人々に新鮮な印象をあたえた (E) などすぐれた作品を発表しました。

【プロレタリア文学】 労働者の生活をえがいた (F)

【美術】 洋画の (G) (H)

【音楽】 童謡に多くの作品を残した (I) 日本で最初の職業オーケストラを組織した洋楽の (J) 邦楽(箏曲)の (K) などが新風をふきこ込みました。

(4) 都市の生活

ガス・(L)・電気などの広がりによって、都市では(M)の生活様式が広まりました。欧米風の外観や応接室をもった(N「)が流行し、ライスカレー、トンカツ、コロッケなどの(O)が広がりました。

洋服はまず男性に普及しましたが、バスガールや電話交換手などの働く女性が増加し、高等女学校の制服に洋服が採用されたことなどから、女性にも広がりました。

まとめ

Blank area for summarizing the text.